

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区浜通西3丁目10-14
電話 (243) 0141
13年 7月 1日

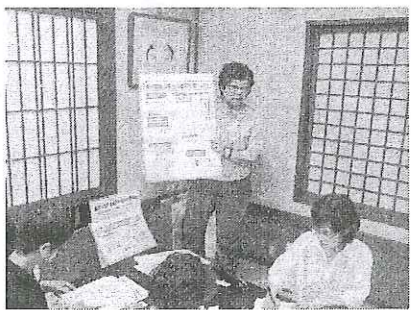
支部総会で増税に反対!

山潟支部

六月十七日(月)総勢二十名の出席で山潟支部総会が行われました。会議の中では三役の菅原さんから消費税率のアップや憲法改憲により中小業者の生きる権利が奪われてしまう。反対署名で必ず阻止しよう!との訴えが行われ、参加者の中からは『消費税率が8%に上がるだけでもとつても厳しいのに10%になれば廃業するしかない』との切実な声が出され、必ずやめさせようと、参加者全員がその場で署名を行いました。



増税など情勢を交えた支部長の挨拶



パネルを使った訴えの様子

に い が た 民 商

ストップ消費増税

大江山支部総会で確認

大江山支部

六月二十二日(土)、会員さんのお店で支部総会を開催しました。皆さん忙しいなか、十七名の方に出席して頂き、大変盛り上がりました。

支部長のあいさつでは「消費増税が増税されたのでは景気は絶対に良くなる。七月の参議院選挙で我々の意見を反映させましょう」との訴えに賛同多数。また、常任理事に諸橋さんが専任され、支部役員若返りの方向へ舵をきる事が出来ました。



増税反対、会員訪問で呼びかける

石山支部

石山支部では、消費増税中止署名、憲法改憲反対署名を使った対話訪問に取り組んでいます。会員さんとの対話の中でわかるのは、アベノミクスで景気が良くなったと言う人はいないという事です。「材料費は値上がりしているが、その分を簡単に上乗せして請求すれば取引を止められてしまう」「景気が良くなっているなんて信じられない。この上消費税が上がったらとてもやっとなれない」と切実な声が出されています。

建築業を営む会員さんは、「消費税が上がれば間違いなく仕事は減る。商店街の小売店がなくなっていったように、消費税で建築業が、TPPで農家が町からいなくなってしまう」と話し、快く署名に協力してくれました。消費税は中小業者にとって死活問題となっています。石山支部では全会員との対話を目指し、訪問を続けていきます。



支部総会に初めての参加者が四名

山ノ下支部

山ノ下支部では、五月の役員会で、例年支部総会に出席する人が同じだという意見が出て、一回り広げるためにやり方を変えてみようということにしました。

具体的には、総会と懇親会を分けて、総会自体は弁当とお茶を無料で提供し、「飲まない人」も気軽に出席できるようにする。「飲む人」だけが残って懇親会に参加する、というものです。

役員の橋本さんが、自分の店の近くの会員さんに皆呼びかけた結果、今まで支部総会に参加しなかった人が四名出席しました。お互いに顔を合わせ、「お久しぶり、お元気?」のあいさつも。全部で一四名の参加者で、中村副会長や五十嵐市議の話に聞き入り、婦人部物資販売も含め、一部だけで一時間近くかかりました。

出席者からは、「景気がいいなんて実感は全くない。政府やマスコミは国民をだまして消費税を上げようとしているが、許せない」との意見も。

橋本さんや支部長の倉島さんは、「やっぱり民商は集まってよく話し合わないとね」と感想を述べています。

初心者でも大丈夫！北東ブロック記帳学習会

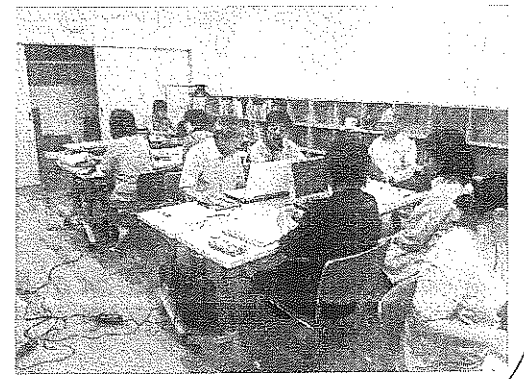
4月から毎週火曜日の昼・夜と、下山コミュニティハウスで開催していた北東ブロック記帳学習会が終了しました。

昨年国税通則法が改悪され、全ての業者に対して帳簿付けが義務付けられました。罰則こそないにしろ法律で決まってしまったこと、また、帳簿を付けることは商売においても大切なことだ、ということでこの記帳学習会を始めました。

学習会は全8回で、「白色申告や青色申告って何なんだ」といった話から「手書き帳簿の付け方」、「パソコン会計の方法」まで幅広く行っており、毎回20名弱の方々が参加しました。参加者は業種も状況も様々でしたが、今まで帳簿を付けていなかった白色申告の個人事業主も法人の会員も同じ机に並び、お互いにわからないところは教え合って参加者同士のつながりが出来るようにしてきました。

帳簿を付けていなかった参加者も最後には、「何にもわからないことばかりだったけど、必要な帳面もわかったし、チャレンジしてみる」「自信を持って申告に行けそう」と意欲を見せていました。

今後は学習会の卒業生を中心に、自分の帳面を付ける記帳会を考えています。これまでの卒業生からも、「家では放ってしまいがちだけれど皆と一緒に続けられる」「わからなくても相談できる」と好評です。学習会も並行して行い、より楽しくわかりやすい学習会を参加者の皆さんと一緒に作っていきたいと思います。これまで帳簿付けに迷っていた方も是非ご参加下さい。



二〇二核兵器廃絶平和行進に一三五人参加

五月六日北海道を出発した平和行進が六月二十二日

新潟市に入りました。平和行進をしながら各自自治体首長を訪問し核廃絶、原発ゼロを訴えています。新潟県では

佐渡市を除く全ての

自治体で非核都

市(町)宣言を実施

しています。

二十二日の平和

行進は朝九時に新

潟大学を出発。仮装

や音楽を演奏しな

がらにぎやかに

進をしました。正午

に新潟市役所前に

一三五人が集合し

新潟市の出発集会を開催しました。前半歌声樹の合唱と

一緒に歌声を歌いました。集会では新潟県原爆被爆者の

会、原発ゼロの運動をしている団体などが来賓として

挨拶をし、核兵器の無い世界、原発ゼロを訴えました。一

時から歌声を歌い核兵器廃絶、原発ゼロを訴えて亀田の

町まで行進しました。



第二〇回・総会に向けて対話訪問活動

青年部

八月三日(土)に魚國屋での開催が決定した第二〇

回・青年部総会に向け総会への参加の声掛けに青年部役

員が各支部の青年部員を訪問し活発に対話活動を行っ

ています。今回の総会は第二〇回目の節目を迎える総会

です。第一部は総会、第二部では青年部OBを迎えるの

リレートークを行います。大勢の参加で総会を成功させ

ましょう！

第一部 総会

日時 8月3日(土) 午後6時~

第二部 青年部 & 青年部OBリレ

ートーク

時間 午後6時30分~

第三部 懇親会

時間 午後7時~

会場・参加費 魚國屋・2千5百円